

14.8-271



1200700603796

工業會社事業成績調

(昭和十一年下期)

日本勸業銀行調査課



12.7.10

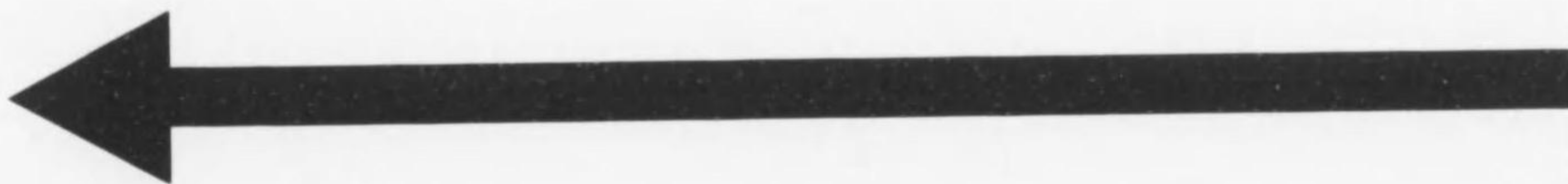
14.8

271

定 4...



始



009

目次

一 概況	一頁
二 事業収益ノ狀況	二
三 利益金處分ノ狀況	一二
四 利益配當ノ狀況	一四
五 固定資産ノ狀況	一五
六 金融ノ狀況	一七

附表

- (一) 工業會社事業別利益率比較表
- (二) 工業會社事業別配當率比較表

備考 [本調査ニ於テハ決算期ノ三月乃至八月ノ間ニアルモノヲ上期ニ、九月乃至翌年二月ノ間ニアルモノヲ下期ニ屬セシメタリ。]



I種
W



1200700603796

昭和十一年下期ニ於ケル工業會社事業成績調

昭和十一年下期ニ於ケル工業會社ノ事業成績ヲ明カニセンガ爲メ、製造工業會社三百社、電氣・瓦斯會社十六社合計三百十六社ニ付キ、營業報告書其ノ他ノ資料ニ依リ調査シタル結果左ノ如シ。

一 概 況

昭和十一年下期ニ於ケル我經濟界ヲ概觀スルニ、内外共ニ多事ニシテ殊ニ内ニ在リテハ庶政一新ノ氣運ヲ招徠シテ財政經濟政策ニモ相當ノ變更ガ豫想セラレ、就中稅制改革案ノ發表ハ我が財界ニ鈔カラザル衝擊ヲ與ヘタルモ景氣ノ動向ニハ些シタル變化無ク、物價ハ益々上昇ノ傾向ヲ示シ期央以後ニ於テハ鋼材ヲ始メ原料品全般ニ亘リテ奔騰スルヲ見タリ。

次ニ金融界ハ期初ニ於テハ前期ニ引續キ大勢緩慢裡ニ推移シ爾後商取引ノ活況、事業界ニ於ケル新設、擴張計劃ノ續出、起債界ノ停頓等ニ因ル資金需要ノ急激ナル増加ニ因リテ金融ノ硬化ヲ招徠シタルモ、年末金融工作ノ講ゼラル、ニ及ビ漸次緩和ノ状態ニ復歸スルヲ得タリ。他方輸出貿易ハ各國ニ於ケル通商障壁ノ緩和ヲ見ルニ至ラザリシモ、比較的順調ニ推移シ、又農村方面ニ於テモ米・籾價ノ高値維持ニ因リ農家經濟ハ相當好轉シタリ。

財界ノ情勢前述ノ如クナリシヲ以テ事業會社ノ一部ニハ業績ノ著シク好轉シタルモノアルモ、其ノ大半ハ却ツテ原料高製品安ノ壓迫ヲ蒙リ或ハ増産並ニ増税見越シノ資本擴張ガ行ハレタル等ニ因リ業績ノ向上ヲ見ザリシ爲メ、其ノ總平均利益率ニ於テハ前期ニ比シ幾分ノ低下ヲ示セリ。

今之ヲ本調査ニ付キ概観スルニ、製造工業會社及電氣・瓦斯會社三百十六社ノ當期ニ於ケル利益金總額ハ三億一千四百七十二萬六千三百九十一圓ニシテ、其ノ株主資本總額（拂込資本金、諸積立金及前期繰越金）四十三億五千四百九十五萬八千八百六圓ニ對スル年率ハ一割四分五厘トナリ、前期ニ比シ二厘ノ低落ヲ示シタリ。

二 事業收益ノ狀況

事業收益ノ狀況ヲ檢スル爲メ、先ヅ製造工業ト電氣・瓦斯業トニ分チ、株主資本ニ對スル利益率ヲ見ルニ、製造工業ハ一割五分六厘、電氣・瓦斯業ハ一割一分八厘ニシテ前期ニ比シ夫々一厘及四厘ヲ減少シタリ。

今昭和七年上期以降ニ於ケル兩者ノ利益率ヲ比較スレバ左ノ如シ。

期 別	製造工業	電氣・瓦斯業	總平均	期 別	製造工業	電氣・瓦斯業	總平均
昭和七年 上期	一〇・九 ^割	〇・六 ^割	〇・八 ^割	昭和九年 下期	一〇・五 ^割	一〇・三 ^割	一〇・九 ^割
同 下期	一〇・〇	〇・六	〇・九	同 十年 上期	一〇・四	一〇・二	一〇・八

同 八年 上期	同 八年 下期	同 九年 上期	同 十一年 上期	同 十一年 下期
一・二六	一・五二	一・四六	一・六	一・六
〇・八一	〇・七	〇・九	同	同
一・二	一・六	一・六	一・六	一・六
同	同	同	同	同
一・六	一・七	一・六	一・六	一・六
一・四	一・三	一・八	一・四	一・四

次ニ各種事業ヲ九種ニ大別シテ其ノ利益率ヲ見ルニ、其ノ最モ高率ナルハ飲食物工業ノ一割八分八厘ニシテ機械工業ノ一割六分五厘、石油精製業ノ一割六分三厘之ニ亞ギ、電氣業ハ一割一分六厘ニシテ最低率ナリ。之ヲ前期ト比較スルニ、石油精製業、飲食物工業及雜工業ヲ除キ他ハ僅カ乍ラ低落シタリ。

今各種事業中其ノ主ナルモノニ付キ收益ノ狀況ヲ窺フニ、染織工業ニ在リテハ製絲業及特殊ノ整理損ヲ計上シタル爲メ利益率ノ激減セル毛絲紡織業ヲ除キ爾餘ノ工業ハ何レモ利益率ヲ増加セリ。

化學工業ニ在リテハ人造絹絲製造業ハ需給ノ改善ニ依リ、護謨製造業ハ護謨ノ世界的需要増加ニ依リ何レモ市價騰貴シテ多大ノ利益ヲ收メ、煉瓦製造業及塗料製造業ハ何レモ需要ノ激増ニ依リ收益著シク増加シタリ。又製革業ハ原料高製品安ノ爲メ、肥料製造業ハ硫安市價ノ低迷ニ依リ、製紙業ハ増資拂込徴收直後ノ關係上何レモ利益率減少シタリ。

次ニ機械工業ニ在リテハ原動機製造業、造船業、車輛製造業ハ時局ヲ反映シテ何レモ利益率増加シタルモ、爾餘ノ事業ハ採算ノ有利トナリタルニ乘ジ其ノ資本ヲ増大シタル爲メ業績ノ向上ヲ見タルニモ拘ラズ其ノ利益率ハ低下シタリ。

金屬精鍊業ニ在リテハ利益金ハ増加シタルモ株主資本ノ増加著シカリシ爲メ利益率ハ却ツテ前期ヨリ減少シ、石油精製業ニ在リテハ需要ノ増加ト統制ノ強化トニ依リ前期ニ引續キ油價昂騰シタル爲メ利益率増加シタリ。

飲食物工業ニ在リテハ菓子製造業、製氷業ヲ除キ他ノ事業ハ何レモ好轉シタリ。尤モ製氷業ノ利益率ノ激減セルハ成績優良ナル一會社ノ解散シタルガ爲メニシテ異例ニ屬スルモノト謂フベシ。

次ニ雜工業ニ在リテハ印刷業ハ事業界活況ノ餘波ヲ受ケテ收益増加シ、製綱及製網業ハ造船業、鑛山業ノ殷盛ニ伴ヒ製品ノ需要増加シ利益率亦増加セリ。

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
染織工業	一・三五	一・一六	一・三五	一・一六	一・一六	一・二五
化學工業	一・一八	一・五九	一・一六	一・七〇	一・七七	一・八四
機械工業	一・一五	一・七〇	一・一六	一・七二	一・六三	一・五五
金屬精鍊業	一・一六	一・一〇	一・一七	一・一六	一・一五	一・一六
石油精製業	一・一三	一・一六	一・一七	一・一三	〇・八三	〇・八四
飲食物工業	一・一八	一・一五	一・一七	一・一七	一・一六	一・一六
雜工業	一・一四	一・一三	一・一四	一・一五	一・一四	一・一九
製造工業平均	一・一六	一・一七	一・一六	一・一六	一・一五	一・一八

電氣業	瓦斯業	總平均
一・一六	一・一三	一・一四
一・一三	一・一三	一・一三
一・一七	一・一三	一・一四
一・一七	一・一三	一・一四
〇・六六	一・一三	一・一六
〇・六三	一・一三	一・一六

更ニ各種事業ヲ五十種ニ細別シテ其ノ利益率ヲ前期ト比較スルニ、當期ニ於テ増加セルモノ二十九種、減少セルモノ十九種、増減ナキモノ二種ニシテ、其ノ事業ノ種類及利益率ノ増減割合ハ左ノ如シ。

利益率ノ増加シタル事業 (單位割)

化粧品製造業 (〇・八五)	文房具製造業 (〇・八二)	煉瓦製造業 (〇・四八)
人造絹絲製造業 (〇・四四)	塗料製造業 (〇・四一)	綿織物業 (〇・三二)
護謄製造業 (〇・二九)	紙器製造業 (〇・二六)	原動機製造業 (〇・二五)
陶磁器製造業 (〇・二三)	製帽業 (〇・二二)	車輛製造業 (〇・一八)
製綱及製網業 (〇・一八)	燐寸製造業 (〇・一六)	絹織物業 (〇・一五)
清酒釀造業 (〇・一四)	醬油釀造業 (〇・一一)	綿絲紡績業 (〇・〇九)
工業藥品製造業 (〇・〇九)	印刷業 (〇・〇九)	石油精製業 (〇・〇七)
油脂及蠟製造業 (〇・〇七)	造船業 (〇・〇六)	染料顏料製造業 (〇・〇五)
製粉業 (〇・〇五)	莫大小製造業 (〇・〇四)	麻絲紡織業 (〇・〇三)
染色業 (〇・〇三)	麥酒釀造業 (〇・〇一)	

利益率ノ減少シタル事業 (單位割)

製水業 (一・〇二)	毛絲紡織業 (〇・六八)	硝子製造業 (〇・四七)
一般機械製造業 (〇・二九)	器具製造業 (〇・二一)	製鹽業 (〇・一六)
製革業 (〇・一五)	セメント製造業 (〇・一三)	製紙業 (〇・一三)
製絲業 (〇・二二)	電氣機器製造業 (〇・二二)	肥料製造業 (〇・一〇)
金屬品製造業 (〇・一〇)	醫療藥品製造業 (〇・〇八)	製材業 (〇・〇六)
電氣業 (〇・〇五)	金屬精練業 (〇・〇四)	瓦斯業 (〇・〇一)
菓子製造業 (〇・〇一)		

利益率ノ増減ナキ事業

セルロイド製造業 (一・一) 製糖業 (一・一)

尚以上ノ諸事業ヲ當期利益率一割以上ノモノト一割未滿ノモノトニ分チ、更ニ一割以上ノモノヲ收益變動ノ程度ニ從ヒ三種ニ細別シテ、最近六期間ニ於ケル收益ノ狀況ヲ比較スレバ次表ノ如シ。

(甲) 當期利益率一割以上ノモノ

イ 收益ノ安定セルモノ (六期間ニ於ケル利益率ノ變動ガ五分未滿ナルモノ)

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
車輛製造業	二・一八	二・〇〇	二・六	一・九	二・六	一・九
一般機械製造業	一・五	二・三	二・六	二・三	二・七	二・〇
煉瓦製造業	一・五	一・五	一・四	一・四	一・六	一・六
製粉業	一・七	一・六	一・六	一・五	一・五	一・五
紙器製造業	一・三	一・七	一・七	一・元	一・五	一・五
製紙業	一・六	一・三	一・八	一・三	一・八	一・九
電氣機器製造業	一・六	一・三	一・七	一・七	一・六	一・四
麥酒釀造業	一・六	一・七	一・四	一・五	一・四	一・四
綿絲紡績業	一・五	一・四	一・五	一・五	一・四	一・八
製帽業	一・四	一・九	一・四	一・〇	一・四	一・六
菓子製造業	一・六	一・元	一・四	一・三	一・九	一・三
セルロイド製造業	一・七	一・七	一・四	一・六	一・九	一・四
瓦斯業	一・三	一・三	一・三	一・三	一・三	一・元
製革業	一・五	一・四	一・三	一・八	〇・九	一・四
醫療藥品製造業	一・五	一・三	一・三	一・六	一・〇	一・六

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
肥料製造業	一・三三	一・三三	一・三〇	一・〇七	一・〇〇	一・〇七
セメント製造業	一・一九	一・三三	一・一五	一・四二	一・五四	一・五九
電気業	一・二六	一・三二	一・〇七	一・〇七	〇・九六	〇・八三
製鹽業	一・二二	一・二七	一・一八	一・〇四	一・四六	一・四七
清酒醸造業	一・〇〇	〇・六六	一・〇八	一・〇六	一・一五	一・〇四
絹織物業	一・〇〇	〇・八五	〇・九五	一・〇四	一・二三	一・〇五

□ 収益ノ比較的安定セルモノ (同五分以上一割未満ナルモノ)

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
製糖業	二・二七	二・二七	二・二七	一・九八	一・八八	一・六二
陶磁器製造業	一・一八	一・六五	一・九三	一・八八	一・九〇	一・三四
金屬品製造業	一・一六	一・九六	二・二九	二・五三	二・四六	二・四三
麻絲紡織業	一・一七	一・七五	一・八七	一・四四	一・〇六	一・一六
製網及製網業	一・一七	一・五五	一・七七	一・四二	一・九〇	一・一〇

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
油脂及蠟製造業	一・一六	一・五七	一・一四	一・三三	〇・七	一・一四
石油精製業	一・一三	一・六六	一・一七	一・〇三	〇・八三	〇・八四
金屬精鍊業	一・一六	一・六〇	一・五七	一・六六	一・七五	一・六六
塗料製造業	一・三三	一・一一	一・二四	一・三三	〇・九三	〇・八二
器具製造業	一・四四	一・二二	一・一四	一・三三	〇・九三	〇・八二
造船業	一・一六	一・一五	一・一六	一・四九	〇・九三	一・一八
文房具製造業	一・三三	一・〇〇	〇・七二	〇・九二	〇・七	〇・七九
染色業	一・三三	一・一八	一・三三	一・一五	一・一七	一・八一
護謄製造業	一・三三	〇・九三	〇・七五	〇・六六	〇・九	〇・五六
莫大小製造業	一・〇七	一・〇三	一・一八	一・八一	一・七四	一・七三

ハ 収益ノ變動著シキモノ (同一割以上ノモノ)

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
人造絹絲製造業	二・二六	一・一四	二・一五	二・六九	三・四六	三・五六
硝子製造業	二・三二	二・七	二・五五	三・三四	三・七五	四・〇一
染料顔料製造業	二・〇〇	二・一五	二・二七	二・八一	一・三六	二・五三

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
化粧品製造業	二・二五	一・三〇	一・三四	〇・五四	一・五四	一・二二
原動機製造業	二・〇九	一・八四	一・九〇	一・七三	一・二五	〇・八八
印刷業	一・七五	一・六六	一・五七	〇・四四	一・三九	一・二二
製絲業	一・三三	一・四四	一・二七	〇・九九	△一・五五	△一・五三
工業藥品製造業	一・三三	一・二三	一・五四	一・四三	一・二四	二・二二
綿織物業	一・二三	〇・八九	一・一〇	一・二九	一・九八	一・七四

備考 △印ハ缺損率ヲ示ス、以下同ジ

(乙) 当期利益率一割未満ノモノ

事業別	昭和十一年下	同十一年上	同十年下	同十年上	同九年下	同九年上
燐寸製造業	〇・六六	〇・六〇	〇・六三	〇・五六	△〇・三三	△〇・六二
製氷業	〇・七四	〇・八〇	〇・八二	一・四二	一・四三	一・三七
製氷業	〇・四六	一・四八	一・四九	一・五八	一・五四	〇・三二
毛絲紡織業	〇・四三	一・二二	一・〇九	〇・九三	一・〇四	一・四七

醬油醸造業	〇・四	三・〇	〇・〇	二・二	一〇・〇	△〇・四
-------	-----	-----	-----	-----	------	------

更ニ工業會社ノ收入ノ狀況ヲ檢スル爲メ、總收入金ノ固定資産ニ對スル比率ヲ求ムレバ左表ノ如ク、製造工業ニ於テハ十四割二分三厘、電氣・瓦斯業ニ於テハ二割四分一厘ニシテ前期ニ比較シ電氣・瓦斯業ハ四厘ヲ減少シタリト雖モ、製造工業ハ四分四厘ヲ増加シ、結局總平均ニ於テハ二分八厘ヲ増加シテ九割二分九厘トナレリ。即チ事業界ノ活況ニ伴ヒ生産設備ノ擴張セラレタルコトハ周知ノ事實ナルモ其レ以上ニ毎期ノ賣上高ガ遞増シツ、アルヲ窺知シ得ベシ。

期別	製造工業	電氣・瓦斯業	總平均	期別	製造工業	電氣・瓦斯業	總平均
昭和七年上期	八・六八	二・〇六	五・四八	昭和九年下期	二・三六	二・二一	八・五三
同 八年下期	九・一〇	一・九三	五・六四	同 十年上期	二・五一	二・三〇	八・三三
同 八年上期	一〇・五七	二・〇八	六・五六	同 十年下期	二・三四	二・二八	八・七六
同 九年下期	二・八〇	一・六六	七・六九	同十一年上期	二・三九	二・四五	九・〇二
同 九年上期	二・一八	二・二二	七・九二	同 十一年下期	二・四三	二・四二	九・九元

三 利益金處分ノ狀況

利益金（前期繰越金ヲ含ム）處分ノ狀況ヲ見ルニ、製造工業ニ在リテハ利益金ノ三割一分九厘ヲ株主配當金、役員賞與金トシテ社外ニ分配シ、六割八分一厘ヲ諸積立金、固定資産消却金及後期繰越金トシテ社内ニ保留シ、電氣・瓦斯業ニ在リテハ四割六分二厘ヲ社外ニ分配シ五割三分八厘ヲ社内ニ保留シ、總平均ニ於テハ三割五分二厘ヲ社外ニ分配シ六割四分八厘ヲ社内ニ保留セリ。

今昭和七年上期以降ノ各期ニ於ケル工業會社ノ社内保留及社外分配ノ割合ヲ示セバ左ノ如シ。

期 別	製 造 工 業		電 氣 ・ 瓦 斯 業		總 平 均	
	社内保留率	社外分配率	社内保留率	社外分配率	社内保留率	社外分配率
昭和七年 上期	四・六四	五・三六	四・九二	五・〇八	四・六	五・四
同 下期	五・四〇	四・六〇	五・三九	四・六一	五・四〇	四・六〇
同 八年 上期	六・四九	三・五一	六・三二	三・六九	六・四四	三・五六
同 下期	六・四三	三・五七	六・六五	三・三五	六・四九	三・五一
同 九年 上期	六・三七	三・六三	六・八四	三・一六	六・四九	三・五一
同 下期	六・四一	三・五九	五・八八	四・一二	六・二九	三・七一

同 十年 上期	六・八四	三・一六	五・七七	四・二三	六・六一	三・三九
同 下期	六・七五	三・二五	五・七七	四・八三	六・四一	三・五九
同 十一年 上期	六・七九	三・二二	五・四二	四・五九	六・四六	三・五四
同 下期	六・八一	三・一九	五・三八	四・六二	六・四八	三・五二

更ニ利益金處分ノ狀況ヲ各事業別ニ見レバ、左表ノ如ク、今期ニ於テ社内保留率ヲ増加シタルモノハ、染織工業、機械工業、金屬精鍊業、飲食物工業、雜工業、瓦斯業ノ六事業ニシテ、殘餘ノ三事業ハ多少共減少シタリ。

事 業 別	昭 和 十 一 年 下 期		昭 和 十 一 年 上 期	
	社内保留率	社外分配率	社内保留率	社外分配率
染織工業	七・六一	二・三九	七・五八	二・四二
化學工業	五・八五	四・一五	五・九三	四・〇七
機械工業	六・六六	三・三四	六・六三	三・三七
金屬精鍊業	六・四六	三・五四	六・三四	三・六六
石油精製業	七・五六	二・四四	七・七五	二・二五
飲食物工業	七・四〇	二・六〇	七・二三	二・七七
雜工業	六・二五	三・七五	五・八四	四・一六

事業別	昭和十一年下期		昭和十一年上期	
	社内保留率	社外分配率	社内保留率	社外分配率
製造工業平均	六・八一	三・一九	六・七九	三・二一
電氣業	五・五一	四・四九	五・五九	四・四一
瓦斯業	四・六〇	五・四〇	四・四二	五・五八
總平均	六・四八	三・五二	六・四六	三・五四

四 利益配當ノ狀況

當期ニ於ケル工業會社ノ利益配當ノ狀況ヲ檢スルニ、拂込資本金ニ對スル配當率ハ八分六厘ニシテ前期ト同様ナルモ當期利益金ニ對スル配當金ノ比率ハ四割六分九厘ニシテ七年下期以來ノ高率配當ヲ示セリ。

期別	株主資本ニ對スル利益金ノ比率		拂込資本金ニ對スル配當金ノ比率		期別	株主資本ニ對スル利益金ノ比率		拂込資本金ニ對スル配當金ノ比率	
	昭和七年上期	昭和七年下期	昭和七年上期	昭和七年下期		昭和九年下期	昭和十年上期	昭和九年下期	昭和十年上期
同 八年 上期	〇・八三	〇・九一	〇・五四	〇・五四	同 八年 下期	一・元	一・四八	〇・七三	〇・六
同 八年 下期	〇・九一	〇・九二	〇・五四	〇・五四	同 九年 上期	一・四	一・四八	〇・六	〇・六
同 九年 上期	一・二二	一・二二	四・三五	四・三五	同 九年 下期	一・四	一・四	四・六	四・六

期別	株主資本ニ對スル利益金ノ比率		拂込資本金ニ對スル配當金ノ比率		期別	株主資本ニ對スル利益金ノ比率		拂込資本金ニ對スル配當金ノ比率	
	昭和七年上期	昭和七年下期	昭和七年上期	昭和七年下期		昭和十一年上期	昭和十一年下期	昭和十一年上期	昭和十一年下期
同 九年 上期	一・六	一・六	三・九五	三・九五	同 九年 下期	一・四七	一・四七	四・六	四・六
同 九年 下期	一・六	一・六	四・二	四・二	同 十年 上期	一・四	一・四	四・六	四・六

五 固定資産ノ狀況

次ニ株主資本ニ對スル固定資産ノ割合ヲ見ルニ、製造工業ニ在リテハ七割九分七厘、電氣・瓦斯業ニ於テハ十三割三分七厘ニシテ、之ヲ前期ト比較スルニ前者ハ三分五厘、後者ハ四分二厘ヲ減少シ、總平均ニ於テ三分九厘ヲ減少シテ九割五分九厘トナリ近年ニ於ケル最小記録ヲ示現シタリ。是レ積立金ノ増大セル一方頗リニ拂込増資ヲ行ヒ株主資本ノ増大セル爲メニシテ必ずシモ固定資本設備其ノモノ、縮小ヲ意味セルモノニアラズ。

期別	製造工業		電氣・瓦斯業		總平均	期別	製造工業		電氣・瓦斯業		總平均
	昭和七年上期	昭和七年下期	昭和七年上期	昭和七年下期			昭和九年下期	昭和十年上期	昭和九年下期	昭和十年上期	
同 八年 上期	九・四九	九・三七	一五・三六	一五・四	二・五九	同 八年 下期	八・五三	八・五二	一四・三六	一〇・三二	
同 八年 下期	九・三六	九・二二	一四・六六	一四・七二	二・三九	同 九年 上期	八・四〇	八・三三	一三・九六	一〇・一八	
同 九年 上期	八・六	八・六	一四・五四	一四・八八	二・二	同 九年 下期	七・九七	七・九七	一三・七	九・九	

又固定資産ノ減價消却狀況ヲ見ルニ、製造工業五分二厘、電氣・瓦斯業二分五厘ニシテ前期ニ比較シテ前者ハ三厘ヲ増加シ後者ハ四厘ノ減少ヲ示セリ。

期 別	固定資産消却年率		期 別	固定資産消却年率	
	製造工業	電氣・瓦斯業		製造工業	電氣・瓦斯業
昭和七年 上期	〇・三〇	〇・二七	昭和九年 下期	〇・五四	〇・三六
同 下期	〇・四三	〇・二七	同 十年 上期	〇・五三	〇・三九
同 八年 上期	〇・七〇	〇・二六	同 下期	〇・五二	〇・三二
同 下期	〇・六〇	〇・二七	同 十一年 上期	〇・四九	〇・三九
同 九年 上期	〇・五五	〇・二四	同 下期	〇・五三	〇・三五
		總平均			總平均
		〇・三〇			〇・四三

更ニ製造工業會社ノ固定資産ト流動資産トノ割合ヲ見ルニ、固定資産ノ割合ハ逐年減少ノ一途ヲ辿リ今期ハ更ニ低下シテ五割九分八厘トナレリ。是レ運轉資金ノ潤澤トナリタルニ因ルベシト雖モ其ノ間原料及製品ノ手持賣借ニ傾向アルヲ看過シ得ザルベシ。

期 別	固定資産	流 動 資 産	
		製品・原料	預金・現金
昭和七年 上期	六・八一	一・六八	〇・七二
			受取手形・賣掛代金
			〇・七九

同 八年 下期	同 八年 上期	同 九年 下期	同 九年 上期	同 十年 下期	同 十年 上期	同 十一年 下期	同 十一年 上期	固定資産		流 動 資 産	
								六・六九	六・五六	一・六九	〇・七九
六・四二	六・四二	六・二二	六・二二	六・二七	六・二七	六・一八	六・一〇	一・八二	〇・七六	一・八二	〇・八六
六・二二	六・二二	六・二二	六・二二	六・二七	六・二七	六・一八	六・一〇	一・八五	〇・八七	一・八五	〇・八六
一・九四	一・九四	一・九四	一・九四	二・〇一	二・〇一	二・一四	二・一四	二・〇三	〇・八五	二・〇三	〇・九〇
二・二二	二・二二	二・二二	二・二二	二・二二	二・二二	二・二二	二・二二	二・二二	〇・八九	二・二二	〇・九一

六 金融ノ狀況

最後ニ工業會社ノ金融狀況ヲ檢スル爲メ、先ヅ製造工業會社ニ付キ、其ノ製品及原料ノ延取引關係ニ表ハル、主要勘定科目ヲ見ルニ、支拂手形及買掛代金ノ株主資本ニ對スル比率ハ一割五分九厘、受取手形及賣掛代金ノ株主資本ニ對スル比率ハ一割二分一厘ニシテ、之ヲ前期ト比較スルニ前者ニ於テハ八厘ヲ増加シタルモ、後者ニ於テハ一厘ヲ微減セリ。株主資本ノ激増アリタルニモ拘ハラズ前者ノ比率ノ増加セルハ事業界ノ活況ニ伴ヒ信用取引ノ膨脹シタルニ因ルモノナルベシ。

期別	株主資本ニ對スル支拂		株主資本ニ對スル受取		支拂超過率
	代金ノ割合	手形及買掛	代金ノ割合	手形及買掛	
昭和七年 上期	一・七三	一・六四	一・二一	〇・六二	昭和九年 下期
同 下期	一・六四	一・六四	一・三三	一・三三	同 十年 上期
同 八年 上期	一・六五	一・三三	一・四一	一・三三	同 十年 下期
同 八年 下期	一・四四	一・三三	一・四一	一・三三	同 十一年 上期
同 九年 上期	一・五五	一・三三	一・五二	一・三三	同 十一年 下期
同 九年 下期	一・五五	一・三三	一・五九	一・三三	

更ニ社債及借入金ノ株主資本ニ對スル比率ヲ見ルニ、製造工業ニ在リテハ二割一分、電氣・瓦斯業ニ在リテハ五割五分四厘ニシテ、之ヲ前期ト比較スルニ前者ニ於テ三分三厘、後者ニ於テ四分ノ縮小ヲ示シタリ。斯カル比率低下ノ趨勢ハ昭和八年上期以來ノ傾向ニシテ、工業會社が好況ニ乗ジ自己資本ノ充實ニ努メツ、アル證左ナルベシ。

期別	製造工業		電氣・瓦斯業		總平均
	昭和七年 上期	同 下期	昭和九年 下期	同 十年 上期	
同 八年 上期	三・六三	三・五五	七・五九	四・九二	五・〇六
同 八年 下期	三・六九	三・五五	七・三三	四・九二	五・〇三
同 八年 上期	三・六九	三・五五	七・四〇	五・〇三	同 下期
同 八年 下期	三・六九	三・五五	七・三三	四・九二	同 上期
同 八年 上期	三・六九	三・五五	七・四〇	五・〇三	同 下期

期別	製造工業		電氣・瓦斯業		總平均
	昭和七年 上期	同 下期	昭和九年 下期	同 十年 上期	
同 九年 上期	三・三九	三・三九	七・三三	四・六九	四・七七
同 九年 下期	三・三九	三・三九	七・三三	四・六九	四・七七
同 九年 上期	三・三九	三・三九	七・三三	四・六九	同 下期
同 九年 下期	三・三九	三・三九	七・三三	四・六九	同 上期
同 九年 上期	三・三九	三・三九	七・三三	四・六九	同 下期

尙最近六期間ニ於ケル社債及借入金ノ株主資本ニ對スル割合ヲ事業別ニ示セバ左表ノ如ク、各種事業ヲ通ジ最モ高率ナルハ電氣業ノ六割五分六厘ニシテ、石油精製業ノ二割九分五厘之ニ亞ギ、最モ僅少ナルハ瓦斯業ノ四厘ナリ。

事業別	昭和十一年下		同十一年上		同十年下		同十年上		同九年下		同九年上	
	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期
染織工業	二・七四	二・七四	二・〇三	二・〇三	二・四〇	二・四〇	二・四四	二・四四	二・六六	二・六六	二・六七	二・六七
化學工業	二・八四	二・八四	三・五五	三・五五	四・〇〇	四・〇〇	三・九四	三・九四	四・一〇	四・一〇	四・七五	四・七五
機械工業	一・四二	一・四二	一・四一	一・四一	一・四九	一・四九	一・四三	一・四三	一・六〇	一・六〇	一・九〇	一・九〇
金屬精鍊業	〇・七四	〇・七四	〇・八七	〇・八七	〇・八七	〇・八七	〇・九三	〇・九三	一・一三	一・一三	三・〇三	三・〇三
石油精製業	二・九五	二・九五	二・九一	二・九一	一・六〇	一・六〇	一・六一	一・六一	一・六四	一・六四	一・六二	一・六二
飲食物工業	二・〇〇	二・〇〇	二・二七	二・二七	二・五二	二・五二	二・九一	二・九一	三・〇〇	三・〇〇	二・八四	二・八四
雜工業	一・五九	一・五九	一・五六	一・五六	一・五七	一・五七	一・六四	一・六四	一・七四	一・七四	二・四七	二・四七
製造工業平均	二・一〇	二・一〇	二・四三	二・四三	二・四二	二・四二	二・四二	二・四二	二・六三	二・六三	三・二四	三・二四
電氣業	六・六六	六・六六	七・〇五	七・〇五	七・五八	七・五八	七・八九	七・八九	八・五九	八・五九	八・八一	八・八一

終

